

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 25 年 7 月 18 日 (2013.7.18)

【公開番号】特開 2012-25325 (P2012-25325A)

【公開日】平成 24 年 2 月 9 日 (2012.2.9)

【年通号数】公開・登録公報 2012-006

【出願番号】特願 2010-167969 (P2010-167969)

【国際特許分類】

B 6 1 F 1/12 (2006.01)

B 6 1 F 5/10 (2006.01)

【F I】

B 6 1 F 1/12

B 6 1 F 5/10 C

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 30 日 (2013.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車幅方向外側に位置する外側面板部と、内側に位置する内側面板部と、前記外側面板部と前記内側面板部とを繋ぐウェブ板部とを有する側はりと、

その下方に空気ばねが配置される一対の側部と、前記側部の間に設けられる中央部とを有し、車幅方向に延びる枕はりと、を備えた鉄道車両の台枠構造であって、

前記枕はりの前記側部の下面は、車両上下方向において、前記枕はりの前記中央部の下面よりも高い位置にあり、かつ前記空気ばねの上面に配置され、

前記側はりの前記内側面板部は、その一端が前記枕はりの前記側部の下面端部が接合されるとともに、その他端に前記側はりの前記ウェブ板部が位置する、鉄道車両の台枠構造

。

【請求項 2】

前記枕はりの前記側部と前記中央部とは、傾斜面により接続され、

さらに、前記枕はりが、

その車両長手方向端部において車両上下方向に延びる前面板部及び後面板部と、

前記枕はりの前記前面板部及び前記後面板部の前記傾斜面に対応する位置において、前記枕はりの前記側部の下面と前記中央部の下面とを繋ぐ補強部材と、

を備える、請求項 1 に記載の鉄道車両の台枠構造。

【請求項 3】

前記補強部材の水平面に対する傾斜角は、前記傾斜面の水平面に対する傾斜角よりも小さい、請求項 2 に記載の鉄道車両の台枠構造。

【請求項 4】

前記枕はりは、押し出し方向が車幅方向となる押し出し型材により形成され、

前記枕はりの前記側部の下面は、前記押し出し型材の下面が切除されて下当て板が設けられることにより形成される、請求項 1 - 3 のいずれか 1 つに記載の鉄道車両の台枠構造

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

請求項 1 の発明は、車幅方向外側に位置する外側面板部と、内側に位置する内側面板部と、前記外側面板部と前記内側面板部とを繋ぐウエブ板部とを有する側はりと、その下方に空気ばねが配置される一対の側部と、前記側部の間に設けられる中央部とを有し、車幅方向に延びる枕はりと、を備えた鉄道車両の台枠構造であって、前記枕はりの前記側部の下面は、車両上下方向において、前記枕はりの前記中央部の下面よりも高い位置にあり、かつ前記空気ばねの上面に配置され、前記側はりの前記内側面板部は、その一端が前記枕はりの前記側部の下面端部が接合されるとともに、その他端に前記側はりの前記ウエブ板部が位置する、ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

この場合、請求項 2 に記載のように、前記枕はりの前記側部と前記中央部とは、傾斜面により接続され、さらに、前記枕はりが、その車両長手方向端部において車両上下方向に延びる前面板部及び后面板部と、前記枕はりの前記前面板部及び前記后面板部の前記傾斜面に対応する位置において、前記枕はりの前記側部の下面と前記中央部の下面とを繋ぐ補強部材と、を備える、ことが望ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

請求項 3 に記載のように、前記補強部材の水平面に対する傾斜角は、前記傾斜面の水平面に対する傾斜角よりも小さい、ことが望ましい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

この場合、請求項 4 に記載のように、前記枕はりは、押し出し方向が車幅方向となる押し出し型材により形成され、前記枕はりの前記側部の下面は、前記押し出し型材の下面が切除されて下当て板が設けられることにより形成される、ことができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】